

【「米ドル決済から自立」するトルコ】

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

さてさて、ここ最近

「米ドル覇権放棄屋」であるトランプ大統領が

FRB に圧力かけて行われた

実質のQE4（レポ市場を介して分かりづらくしてる）

について扱っておりますね～

ちなみに私たち日本人としては

資産課税のためにマイナンバーが使われてるってのも

あるんだけど

その辺も警戒したいところで、

多くの人「マイナンバーの政治」も知らないので

前号の後半にさらっと書きました。

QE 4のフェーズに移行したのですから

その辺も警戒する時代になってきた。

バックナンバー【本当はアメリカはずっと不況・・・】

[https://04auto.biz/brd/BackNumber.htm?](https://04auto.biz/brd/BackNumber.htm?acc=yuchan&bid=1&YM=201910&MID=2059#2059)

[acc=yuchan&bid=1&YM=201910&MID=2059#2059](https://04auto.biz/brd/BackNumber.htm?acc=yuchan&bid=1&YM=201910&MID=2059#2059)

さてそれでこの前ちょっとだけ扱ったのですが、

まず現状として

「世界全体のドル決済離れ」がこの数年加速しているのですが

そんな中「トルコも米ドル決済から自立・独立」

する動きを最近見せてますね。

これは実はトランプ大統領が喧嘩しかけるフリをして

加速させてる動きですが

どんどん世界全体で 米ドル決済離れてるのが

トランプが意図したとおり、

この数年進んできております。

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【トレードで負けづらい「トレール方法」とは？】

(ポジションワークの話)

[http://fxgod.net/pdf/trailing\\_stop.pdf](http://fxgod.net/pdf/trailing_stop.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【実はアメリカは「実質のQE4」を

9月から「こっそり」再開している、という話】

[http://fxgod.net/pdf/qe4\\_omo.pdf](http://fxgod.net/pdf/qe4_omo.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【エントリーよりもエグジット（出口戦略）のほうが100倍大事】

という話

[http://fxgod.net/pdf/exit\\_importance.pdf](http://fxgod.net/pdf/exit_importance.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**PDF 無料レポート**

**【Q：リスク1万円リワード2万円の場合の  
勝率は何%でしょう？】（理論値で）**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/risk1man\\_reward2man.pdf](http://fxgod.net/pdf/risk1man_reward2man.pdf)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**PDF レポート**

**【FX 裁量の強い味方、FOREX TESTER（フォレックステスター）  
について考える！】**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/forex\\_tester.pdf](http://fxgod.net/pdf/forex_tester.pdf)

☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【音声プレゼント】 資本主義でお金持ちになる人は実験をする  
「研究者思考」を持っている？**

**MP3 音声の直リンク**

⇒ [http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha\\_shikou.mp3](http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha_shikou.mp3)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



**【資本主義下の『お金の増やし方』】  
についての音声 MP3**

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/okanenofuyashikata.mp3>

**(MP3 音声なのでスマートフォン等でも再生できると思います。  
30分くらい)**



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【ゆう音声プレゼント】**

**【「負けない技術」について考える！】**

⇒

[http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai\\_skill\\_mp3/](http://www.fxgod.net/a/groups/2522992/makenai_skill_mp3/)

(MP3 音声です♪スマートフォンでもお聞きいただけますので  
気軽に聞けるように後ろに BGM も入れておりますので  
移動中や寝る前などなど、お好きなときにお聞きください♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆





☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【新・ゆう音声プレゼント】

「負けないポートフォリオ」を組むための  
学校では絶対教えてくれない方法とは？

⇒

[http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/makenai\\_portfolio/](http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/makenai_portfolio/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆音声プレゼント☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

〈塾とか教材をどう活用するべきか？〉にも関連します

「判断」を繰り返す という考え方

<http://fxgod.net/onsei/fx/hatten/handankurikaeshi.mp3>

(30分くらいです！

音楽付きにしております♪スマートフォンでも聞けます♪)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【音声プレゼント】 これでモチベーションコントロールできますよ！**

<http://cabinet-ex.jp/Lk1/1s161>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ **音声プレゼント** ★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**日本の教育システムの大きな欠点とは？**

⇒

<http://www.fxgod.net/onsei/business/20saideowarukyouiku.m>

p3

(MP3 音声なのでスマホでも聞けます♪  
音楽付きです♪)

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★

**奴隷的人類の思考形態と**

**金持ち層の思考形態の違いとは??**

**大体50分弱の音声です。**

**通勤途中、運転途中、寝る前などに**

**お気軽に聞いてくださいね~**

**【何でも成功する人たちの共通した思考方法の特徴とは??】**

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kanemochishikou.mp3>

(MP 3 音声なのでスマートフォンでもお聞きいただけます)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆音声プレゼント☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「価値をすることでお金持ちになる」という話をしました。

例として「トヨタのプリウス」とか「野菜ジュース」とか

「くら寿司」の話をしました。

【「価値=Value」をすることでお金持ちになる】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kachihaokane.mp3>

(スマートフォンでも聞けます♪)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【音声プレゼント】

習慣がお金を作る

「習慣こそ最強！」

⇒ <http://www.fxgod.net/onsei/business/shukansaikyo.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====編集後記=====

さてさて、ここ最近ですが

もうトランプ大統領が登場してからというもの、

すごい勢いで世界が変化しておりますよね。

前号までで扱った QE 4 政策の拡大も実質は開始されました。

(最初は銀行間市場であるレポ市場を介して。)

ちなみにこれはまた今度、メルマガで再度扱わないとな～

と思ってるのが

預金封鎖の件なんだけど、

いよいよもうこの辺を私たちも意識しないといけない

となりますね。

キプロスなんかでも預金封鎖がされたのはご存知の方は

多いでしょうが

あの時も特に問題がなかった状態で

いきなり、預金封鎖が開始されてしまったわけですが

前号でちょっと書いたけど

「官僚の思惑」ってのがあってそれでいきなり

預金封鎖は実行される恐ろしさがある。

現状、預金封鎖すれば、

日本人、外国人、個人、法人の区別ができない状態ですから

間違いなく大きな国際問題に発展しますが

これを問題なくできてしまうのがマイナンバーですよね。

マイナンバーを活用すれば勤労所得と金融資産性所得を

しっかり国家が把握できてしまうわけですが

そこでいわゆる資産課税のためには

民衆の金融資産性所得（いわゆる資産）

を割り出すことが必要なんですが

本当はそのためにマイナンバーがあるわけです。

勤労所得と金融性所得がごちゃ混ぜになってしまうと

ここで預金封鎖するときの支障になってしまうのですが

マイナンバー提出を今のところ義務化できてませんが

銀行たちに義務化させようとしてるのも（2021年）



これが理由ですね。

日本で非常に特殊な 分離課税ってのが取られていて

「なんでこんな安い税金で分離課税するのか」っていう

疑問をみな持つけど

それは官僚側の視点に立って言えば

「いずれにしてもマイナンバーを活用して

金融資産性所得は把握できて財産課税できるから」

と考えてるからです。

日本の株式なんかの分離課税ってのは世界でも異様な税制

なんだけど

そこで総合課税を拒否ってるのは、

まあ後ほどその勤労所得と金融性所得がごちゃ混ぜに  
してしまうと、預金封鎖時に支障が出てしまうからですね。

あとはマイナンバーで個人・法人・外国人・日本人

の識別も簡単になりますから

いわゆる今までは名寄せってのが大変困難を極めるものでしたが  
それを簡素化して 日本人決め打ちで資産課税を進めるための制度

それがマイナンバーであるわけです。

実質、今脱税とかマネロンとかの把握のためになんて  
言われるけど嘘でして、それは現状の法律内でできてしまうこと

なんです

そこにマイナンバー制度を被せてきてる本当の理由は

やはり金融資産性所得を把握するためですね。

平成9年あたりだったか

預金封鎖の検討を当時の大蔵省がやっていたのだけど

そんな流れで預金保険法や決済性預金やマイナンバー制度も

整えられてきた流れがあるんですが

この辺がまったく報道されていない怖さもあります。

いよいよ、資産保全のことについても私たちはどうしても

意識しないといけない時代に入ってきていると言えます。

たぶんこれから「知らない人」はどんどん資産を減らしてしまう、

そんな時代に入っていくそう・・・

それでこれから大きな流れとして

「世界の米ドル決済離れ」なんてのも加速していきそうです。

特に最近印象的だったのはトルコですよ。

まず最近何よりも QE4 と同レベルで重要だったのが

いよいよトランプ大統領が中東シリアから米軍撤退に

こぎつけた話でした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ゆう PDF レポート

【ついにトランプ大統領が

米軍の中東シリア撤退をガッツリ開始】したことを考える！

⇒ [http://fxgod.net/pdf/trump\\_syria\\_bye1.pdf](http://fxgod.net/pdf/trump_syria_bye1.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

もう明確にトランプ大統領は

「アメリカ帝国覇権放棄」に向かって動き出している、

と言えますよね。

とにかく彼は世界中の米軍を撤退させて

そしてその撤退した後の地域を

ロシア中国に管轄させる、という覇権譲渡を行ってる

のは明白となってきた。

それでこの前上のPDFの号でちょっと扱いましたが

おそらくトランプと背後では協調していただろうトルコが

実際に北シリアに侵攻したわけですが

そこで米軍が撤退してロシア・イラン軍が

そこに取って代わっていたのですが

ここでトランプは トルコが（おそらく事前に打ち合わせした  
シナリオ通り）

北シリアに侵攻してくれたので

「トルコはクルド人を攻撃しようとしてけしからん！

トルコを経済制裁する！」

と宣言したわけですね。

トルコからアメリカへの鉄鋼輸出に高い関税をかける

なんてことをトランプは検討していたけど

ここでトルコ側も おそらく事前に打ち合わせした

シナリオでトランプが宣言したので

「はい、分かりました！」

じゃあ仕方ないけど、私たちは

アメリカに同じく制裁されてるロシアさんが主導する

ドル回避の SWIFT 使わない参加国の通貨建ての貿易決済システムに

加盟してドルを使わないようにします〜」

と言ったわけですね。

なんというかよーく見ているとプロレス感が満載です。

ちなみに最近この「プロレス」ってのが

結構日本でも流行してますよね？

例えば以前私が面白いな〜と思ったのは



N 国党の立花さんがユーチューバーのシバターさんに

裁判します！とか言って

このシバターさんが「立花さん裁判したくないよ」

みたいに泣く演技するんだけど

これがまた超面白かった。

やはりプロレスってのは演出のプロでもあります

最近ユーチューバーなんかの面白い人たちはこの

プロレスってのを時々仕掛けていて大変頭が良いと

私はと思いますが、

トランプなんかもまさにそれをよくやりますね。

ちなみにトランプは以前にバラエティー番組の  
演出も手がけていたからこの手の演出が彼の得意分野です。

ちなみに実際にトランプは以前にプロレス興行にも

参加しているのですが

ユーチューブ上に動画もありますね。

この動画なんかは、動画の最初のほうに

以前はまだ大統領ではなかった

ある種のプロデューサーであった

トランプがライバル興業主の相手をテイクダウンして

たこ殴りにしている動画なんですけど

今となっては貴重な動画です。

たぶん見たことない人にとっては超面白い動画だと思う。

この動画を見ないとトランプの面白さが分からない

っていう面白い動画。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画】 トランプ大統領がプロレスに参加していた時代の動画。**

**若き日のトランプ大統領が相手に本当にリアットする。**

⇒ <https://youtu.be/5NsrwH9I9vE>

**(動画開始 30 秒辺りからトランプ登場)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

まあそれでこのプロセスを国際政治でも

行ってしまうのがトランプ大統領であるんだけども、

トルコとの関係でもやはりこのプロセス感、

がすごい。

それで、トランプが挑発して

そしてトルコが

「それなら

ドル回避の SWIFT 使わない参加国の通貨建ての貿易決済システムに

加盟してドルを使わないようにします～」

となったわけですが

まさにトランプは各国とプロレスを繰り広げて、  
そして「米ドル世界基軸体制」を壊そうとしているわけですね。

それで ドルの貿易決済として使われる

システムってのがあって

それがあなたも時々銀行決済で

聞く名前でしょうが

それが「SWIFT」ってものですよ。

よく海外送金するときに「SWIFTコード」っていうのを

要求されると思いますが

その SWIFT です。

大体の海外決済ってのは基本的にこの SWIFT を経由せよ

ってのが米ドル世界基軸体制の根幹の体制であって

私たち日本人もそれに組み込まれているわけですが

だから銀行なんかは色々 IRS だとか日本の役人に

うるさく言われるから

ここで送金についても相当この数年うるさくなっている

ということですよ。

私の周りでも「SWIFT 経由で海外送金して

なんか途中で止められてる」

なんてケースが結構起こってるのですが

米ドル世界基軸体制を維持するためのこのSWIFTっていう

決済システムほど面倒なものはない、

ということを自営業の人たちは良く分かっている。

(だから自営業の人ほど暗号通貨に熱狂しやすいのだと

思う。)

それでここで重要なのはトルコってのは

「ロシアのルーブルベース」の「SWIFTの代替システム」

~~~~~

を利用することになりそうだ、

ってことですね。

だからトランプの場合、米ドル覇権の放棄を進めていく

わけですが、

ここで 例えばトルコなんか米ドルから離脱するんだけど

それでトルコが新しく使うシステムは？

っていうとやっぱり

BRICS のロシアとか中国とかの開発した決済システムに

なっていくわけですね。

だから大きく見ると

通貨の覇権は2019年の今は完全に

米ドルなんだけど

徐々にそれを BRICS 圏の特に中国人民元とかロシアのルーブル

で貿易決済をさせる、

という流れをプロセスをやりながら作っているのが

トランプ大統領の本当の政策です。

表向きの彼の 各国に敵対的な通商政策ってのは

その結果を導き出すためのまあプロセスなのです。

最近はまだ英語圏の分析人はそこまでダイレクトに書かないけど

なんとなくニュアンス的に「ほら、トランプのプロセスで

米ドル基軸通貨離れが進むぞ」

みたいな感じで記事を書いてきてるんですね。

Turkey Joins Russia's Ruble-Based Alternative To SWIFT

<https://www.zerohedge.com/geopolitical/turkey-joins-russias-ruble-based-alternative-swift>

それで私が考えているのが

今ではもう1万以上の世界中の銀行たちってのが

上記の米ドル決済前提である、米ドル世界基軸体制を維持するための

SWIFTを使っているわけですが

おそらくトルコの銀行なんかもこれから2020年代前半に

かけて

ロシアのルーブルベースの国際貿易決済を使うように

なるわけですね。

だから例えばトルコの小金持ちたちも

これから海外移住するとかしたら、

その移住先銀行がそのロシアのルーブルベースの決済システムに

対応していれば

それでお金を受け取るみたいな体制になっていくんでしょう。

便利そう・・・ですよ、既存のSWIFTの面倒くささを

知っていれば。

(最近のSWIFT周りの送金制限は、すごい。

FXトレーダーでも銀行によっては

大きめの利益吐き出したら

時々 電話が銀行から来たりしますが全部SWIFTが面倒くさいから)

それで日本はやはりアメリカの属国であった。

もっと言うとアメリカはイギリスのシティなんかの属国だから

大きく見ると影で日本はイギリスの属国であった。

マレーシアと同じように・・・

それでこれから、今は日本は対米（隠れイギリス）従属ですが

これが解消されていけば、

日本の銀行たちである程度影響力あるところが

SWIFT 以外の決済システムに対応する

なんてことが2020年代に起こりそうですよね。

そうになったらめっちゃ投資家はうれしいってのが

本音だろうと思います。

ほんと最近は海外送金面倒ですから。

それで最近では米ドル決済のSWIFTの脆弱性も指摘されだしているけど

そこで一気に出てきたのが

ロシアや中国が絡む国際貿易決済システム

ですよね。

ちなみにロシアと中国がもう試験的に

両国の貿易支援に合意してしまして、

そこで米ドル決済の比率は低く、

一方、中国人民元、あとはロシアのルーブル、でメイン決済する、

両国間の貿易決済システムを構築してきているわけです。

それで最近では中国とあとは経済成長を一気に遂げだしている

ロシアのこの二国間の貿易決済額ってのは相当

増えてきていて、

この2年間で約1.5倍まで両国間の貿易が拡大してる

わけですが

そこで新しい、人民元とルーブルの決済システムを

活用しだしております。

それで実はトルコだけではなく・・・

~~~~~

そうインドも実は米ドル決済からの離脱を進めている。

~~~~~

これもやはりトランプのプロレスの結果なんですが

トランプがやたらインドにロシア製の防衛システムを購入したことで

喧嘩売るから

そこでインドもトルコと同じく

「はい、分かりました！アメリカのトランプさんが

そんな強硬に言ってくるなら、

私たちインドもやっぱりロシアのSWIFTに代わるシステムに

参加しちゃいます」

みたいな事を言い出してるわけですね。

それでこれも10月に起こったことですが

ロシアとトルコ両サイドがすでに

ロシアのルーブルベースの貿易決済に合意しましたので

これからもうトルコはロシアの米ドル決済のSWIFTに代わる

ルーブルベースの貿易決済を使っていくことになる。

それでこれは結構すごいスピード感だと私は思いますが

もうトルコの銀行や会社たちはこれからどんどん

ロシア版 SWIFT と一気につながっていくようで

だから海外送金なんかも ロシア版 SWIFT を使えるようになる

らしいんですよ。

これ先進国の現状のドル決済 SWIFT に不満がある人は多いだろうけど

そういう人にとってはトルコ人うらやましい、となる。

それで先進国で良く使われてる

VISA とかマスターカードの代わりに

ロシアの MIR (ミール) カードってのがあって

これもどんどんトルコで使われていくそうです。

この ロシア版 VISA カードみたいな MIR (ミール) カードは

やはりロシア版の SWIFT につながっていくシステムですが、

先進国の人でこのカード持っていたらめっちゃ強いだろな・・・

とか私なんかは考えていたくらいです。

クレジットカード業界なんかも VISA とかマスターが

強いわけですが

これからはロシアの MIR カードなんかも世界中で

使われていきそうです。

以前にロシアはアメリカの制裁があって

それでロシア旅行なんかで例えば外国人が

VISA とかマスターで決済しようとしても

使えない、なんてことがよく起こっていたわけです。

Visa と Mastercard が、ロシア銀行、ソビンバンク、

インベストキャピタルバンク、SMP バンクの 4 銀行

にサービス停止したのが2014年3月ですね。

それでまあロシアの人々もVISA使ってる人はいますから

これ相当困ったそうで、

そこで全ての決済処理を

「NSPK (National Payment Card Systems) 」

というのを使うようになったのだけど

そこでロシアが作ったのが

「MIR (ミール) カード」 ですよ。

最近そのシェアが10%近くまで達してくるだろうと

言われてますが

これがおそらくさらに増えていく。

それで今はロシアでは VISA は一応使えるらしいですが

これから MIR ミールカードなんかも

それこそトルコやらインドやらで

VISA マスターの代わりに普及していく可能性は

ありますね。

それで重要なのがこのトランプ大統領の各国への経済制裁

~~~~~

ってのが

~~~~~

米ドルの世界基軸体制、今までの米ドル支配体制を

~~~~~

結果的にはどんどんぶち壊している

~~~~~

ってことです。

そして結果としては

このトランプの経済制裁ってのが

より多くの国で、

ドル基軸体制の基盤である SWIFT 以外の

それこそロシアのルールベースなんかの決済システムを

使うように誘導してるってことですよ。

それで最近ヨーロッパ・EU なんかも

トランプがイランに対してやたらこれもプロレスで

経済制裁するものだから

EU はイランと決済できないと困りますから

EU も

「はい、分かった！じゃあ EU はイランと貿易決済するために

EU 独自の決済システムを構築する」

と言ってるわけです。

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

2019年7月の号

PDFレポート

【EUのドイツとフランスは米ドル決済を使わない
INSTEX（インステックス）活用を進めていく】

http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

それでプーチンなんかは結構もう

本音で分かる人には分かるだろうってことで

発言してますが、

アメリカがどんどんロシアに経済制裁していくことは

それはどうみても ありえない戦略的なミスであり

それで結果としては ドルの世界基軸性を弱体化していく

ということを行っているのですが、

まあそれをトランプが意図的にやっている、っていうこと

ですよ。

ということなので今までの時代と言えば

アメリカの米ドルってのは世界基軸通貨そのものであり、

そこに信用もプロパガンダとして付加されていたわけですが・・・

徐々に大きな流れで米ドルは世界基軸通貨の座を

ロシアや中国に明け渡したってことが

多くの人に知られてきそうです。

「強いドル」なんていわれましたが

そのドルの力の源泉ってのは

まさに世界基軸性にあって、石油でも鉄鋼でも

なんでもかんでも米ドル決済を基軸に決済が進められてきた

のがその源泉であったけど、

そして各地に米軍が駐留しているってことが経済とつながる

国際政治では大きな米国の影響力の源泉でもありましたが

いよいよこれが崩れていくということになりまして

それを推進してるのが

プロレスを進めていくトランプ大統領です。

それで トランプが QE 4 を FRB のパウエル議長なんかに

圧力かけて結果としては レポ市場あたりから開始している

わけですが

このトランプの背後にはキッシンジャー博士がいるのですが

(実際にトランプが大統領選挙前に挨拶に行ってる)

彼らが「もう債券金融市場を支援しなくてもよいだろう」

という判断になるのが

おそらくこの世界の米ドル決済離れ、独立、自立が

ある程度進んだ時期になるんでしょう。

もう世界である程度 EU のインステックスとか

ロシアや人民元の SWIFT 代替システムなんかが

安定してくれば、

仮にアメリカの債券市場が崩壊して米ドル決済が

使い物にならなかったとしても

なんとか世界は交易を継続できる。

だから今はその 準備段階といえますね。

ということでマスコミばかり見ていたら分からないでしょうが

実のところよく、見ていくと

明らかに米ドルに代わる世界の貿易決済システムの構築

ってのが BRICS 中心に進んでおりまして、

これから新興国たちはこの新しい決済システムを

積極活用していく流れになっていきそうです。

それでこれが大事なことで

「米ドルが長期的に世界で決済のために使われなくなったら？」

ってことですが

大きくは米ドル需要が今後10年くらいで

低下していくってことなんですよね。

私なんか米ドルなんか買いたくないけど

やはり米ドルを買って何かを買わないといけないこと

って国をまたぐと結構あるんですが

ただそういう購買の需要があって米ドルが

基軸通貨で強いドルであったわけですが

米ドルの世界基軸性が低下していくってことは

その米ドル需要は長期では落ちていくってことですから

その辺の大きな流れは知っておきたいところです。

それでまだ出てきてませんが

2020年代にはトランプの戦略で

日本から在日米軍撤退させるぞ~っていう話も

かなり高い確率出て来ると私は見てますが

そのあたりに・・・そろそろ日本も

SWIFT 以外の中国とロシアの決済システム使ってもよくね？

みたいな話を政治家たちは考えるでしょう。

というか今おそらく本当は考えてる政治家も

いらっしやると思う。

それで最後の砦であった GDP 3 位の国日本が

米ドル決済から抜けて BRICS 系の新しい決済システムを

使っていくという流れが形成されたら

いよいよ米ドルの世界基軸性の低下は避けられない

となりますので

そういう意味でも金融部分でも在日米軍撤退議論が

出てくるかどうかというのは大事になりますね。

ちなみに仮に以前書いたような**日朝首脳会談**となれば

そこで「じゃあ在日米軍撤退議論出てくるね」

と分かってくるわけで

そこで「じゃあやっぱり日本も SWIFT 決済から

スローランディングで抜けていく政治を仕掛けてくるな」

くらいは想定できると思います。

そしてそう、ちゃんと日本と中国の国交が最近

安定化してますが（河野さんががんばった）

だから大きくはそういった流れでこれから

日本の政治も動いてくる可能性は上がってきてますね～

ということで、今までは米ドル決済が当たり前であって

今の2019年もやはり基軸は米ドルなのですが

もうその「変化の大きな兆候」が見え出していますので

既存常識は通じなくなりそうなので

新時代に対応できるように準備しておきたいものです。

それで、本当は日本の金持ちたちでもこの辺の

大きな流れ知ってる人は**人民元預金**とかしだしてますが

この人たちはおそらく一般常識的には頭おかしい扱いでしょうが

実際は上記の大きな流れトレンドを捉えているから

そういう行動をしてるわけですね。

それでロシアのルーブルだったり

中国の人民元ってのは

今まで市場に相手にされていなかった感じはしますが

今の政治を見ると

人民元だけではなくロシアのルーブルも

短中期ではまだまだ安定しなそうですが

これは需要が長期で高まる感じはありますので

注目したいところです。

ちなみに30年後ではもうロシアのGDPが日本を抜くと

ゴールドマンサックスでも分析されていますが

1位中国

2位アメリカ

3位インド

4位ブラジル

5位メキシコ

6位ロシア

7位インドネシア

8位日本

9位イギリス

10位ドイツ

という2050年のGDP分析が出てますが

やはりロシアなんかは今後数十年で

経済としても強くなりそうです。

(ちなみにこの時点ではGSの分析だと

大体中国の経済規模はアメリカの2倍となる)

と言うことで今までは米ドルが好んで使われていましたが

それは変わっていき、世界の人々が人民元やルーブルを

結構よく使う新体制になりそうですね。

まあなんとも変化がすごい時代であります。

そしてこれからもトランプ大統領は

戦略的に、プロレスを仕掛けながら

米ドル覇権を放棄していき、

世界基軸通貨であるドルの立場を弱らせるために

隠然と動いていくんでしょう。

それでは！

ゆう

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF 無料レポート

【Q：リスク1万円リワード2万円の場合の
勝率は何%でしょう？】（理論値で）

⇒ http://fxgod.net/pdf/risk1man_reward2man.pdf

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【FX 裁量の強い味方、FOREX TESTER（フォレックステスター）
について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/forex_tester.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【音声プレゼント】 資本主義でお金持ちになる人は実験をする
「研究者思考」を持っている？

MP3 音声の直リンク

⇒ http://fxgod.net/onsei/present/kenkyusha_shikou.mp3

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆